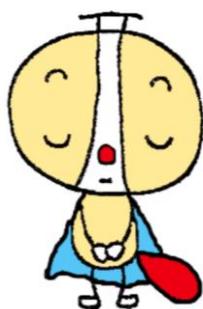


平成 28 年度
西成区民意識調査(区民モニターアンケート)
報告書



スーパーボンボコジャガビー
にしなりくん

平成 29 年 3 月
大阪市西成区役所

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の見方	1

II 調査の結果

1. 回答者の属性	2
(1) 回答者の性別	2
(2) 回答者の年齢	2
(3) 回答者の居住地域	3
(4) 回答者の子育ての状況	4
(5) 回答者の居住年数	4
2. 「健康づくり」に関して	5
問1 喫煙の状況	5
問2 飲酒の状況	6
問3 定期的な運動	8
問4 区役所等での無料結核健診の認知度	10
問5 健康診断等の受診状況	11
3. 「在宅療養」に関して	14
問6 医療と介護が必要な状態の在宅療養の不安	14
問7 医療や介護サービスの相談相手	16
問8 在宅医療サービスの認知度	18
問9 医療や介護サービスなどの情報の入手先	20
問10 医療と介護が必要な場合の希望する生活の場	22
問11 人生の最期を過ごしたい場所	26
4. 「子育て・教育」「福祉」に関して	27
問12 子育て環境の充実度	27
問13 健全な育成に必要なこと	30
問14 子どもの遊び場の確保状況	32
問15 小中学校の基礎学力の向上策	33
問16 子育てに関する区役所情報の提供状況	35
問17 子育て情報の入手先	36
5. 「人権・生涯学習」に関して	37
問18 人権に関する関心度	37
問19 人権啓発事業で力を入れるべきテーマ	39
問20 知っている生涯学習事業	41
問21 西成区生涯学習フェスティバルの開催の認知度	42
問22 生涯学習活動による地域のつながりの深化の感想	43

6. 「防犯・防災」に関して	44
問 23 今宮中学校周辺の通学環境改善の感覚	44
問 24 交通ルール・マナーに関する区民意識	45
問 25 安心安全なまちとしての変化	46
問 26 日ごろからの災害に対する備え	47
7. 「地域活動」「コミュニティ育成」に関して	49
問 27 地域コミュニティの実感	49
問 28 地域活動への関心度	50
問 29 地域のまちづくり活動の連携・協働の推進の意識	52
問 30 地域活動協議会の認知度	54
問 31 地域公共人材の認知度	57
問 32 地域活動への参加状況	59
8. 「イメージアップ」「広報紙」に関して	60
問 33 知っているイメージアップ推進の取組み	60
問 34 イメージアップ等に効果的な取組み（自由記述）	62
問 35 西成区のイメージ	63
問 36 区民以外の西成区のイメージ	64
問 37 区役所情報の入手先	65
問 38 広報紙「にしなり我が町」の読書度	67
問 39 西成区のホームページの閲覧頻度	69
9. 「西成特区構想」に関して	71
問 40 西成特区構想の認知度	71
問 41 あいりん地域の環境改善	73
問 42 あいりん地域の不法投棄	76

III 参考

欄外等への記述	77
---------------	----

I 調査の概要

1. 調査の目的

西成区は、人情味があふれ、古い歴史を有するなど魅力あふれる個性豊かなまちである。

しかしながら、少子高齢化やあいりん地域の問題など、さまざまな問題を抱えており、それらを解決するためには、24区一律の施策ではなく、西成区に特に有効な施策を検討し実施・推進する「西成特区構想」をはじめとする様々な施策を進めていく必要がある。

そこで、区役所が取り組んでいる事業などについてのご意見やお考えをおたずねし、今後のまちづくり施策や事業を進めるうえで、参考資料とするため、区民意識調査（区民モニターアンケート調査）を実施する。

2. 調査の方法

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| (1) 調査対象 | 住民基本台帳から無作為に抽出した18歳以上の区民 |
| (2) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収 |
| (3) 調査期間 | 平成29年1月11日（水）～1月27日（金）（30日（月）到着分まで） |

3. 回収状況

- | | |
|-----------|---|
| (1) 対象者数 | 1,500名 |
| (2) 発送数 | 1,452名（あて先不明等で48名未到達） |
| (3) 有効回収数 | 448票 |
| (4) 回収率 | 29.9%（対象者数に対する有効回収率）
30.9%（発送数に対する有効回収率） |

4. 報告書の見方

- (1) 集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しており、回答比率の合計が100%とならないことがある。
- (2) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超える。
- (3) %は、その質問の回答数（全体など）を母数として算出している。
- (4) 本文中、表やグラフに次にあげるような表示がある場合、複数回答を依頼した質問である。

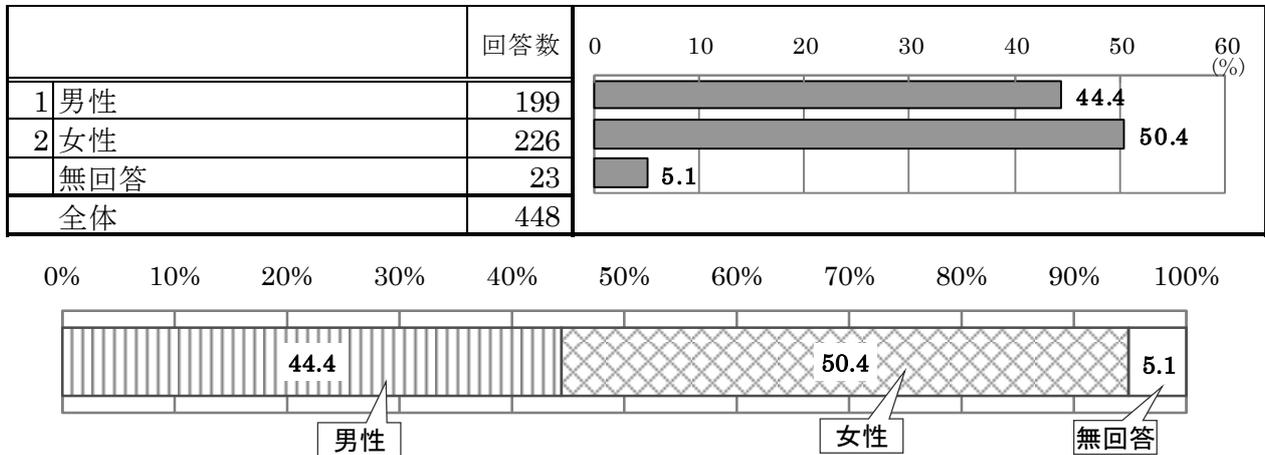
MA%（Multiple Answer）＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

- (5) 「全体」は有効回答448票であり、「該当数」は回答が限られた場合の合計である。
- (6) 本文中のグラフなどにおいて、長い文となる選択肢は簡略化している場合がある。
- (7) 年齢別については、年齢ごとの回答数が少ないため、参考として表示している。
- (8) 回答結果が0.0%の場合、グラフにおいて、その表示を省略している場合がある。

Ⅱ 調査の結果

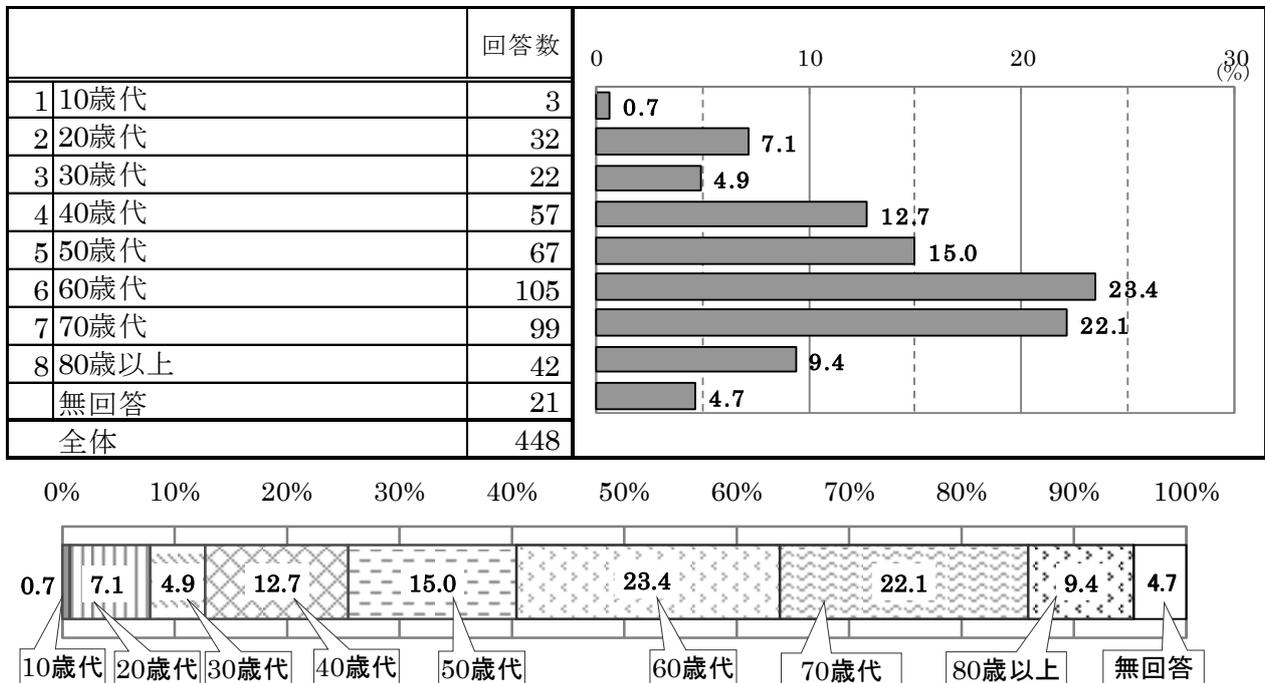
1. 回答者の属性

(1) 回答者の性別



回答者の性別は、「男性」が44.4%、「女性」が50.4%となっている。

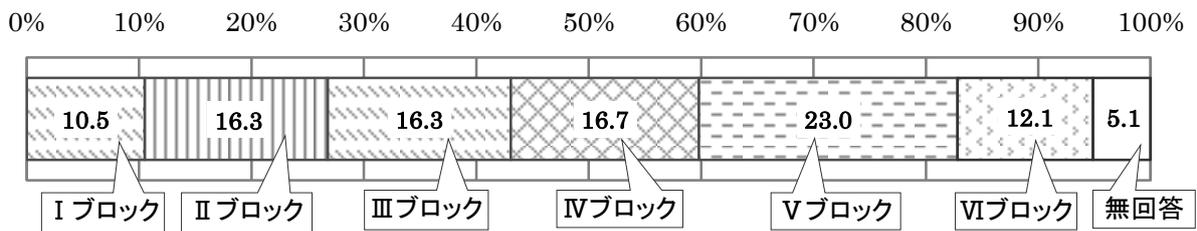
(2) 回答者の年齢



回答者の年齢は、「60歳代」が23.4%と最も多く、次いで「70歳代」が22.1%、「50歳代」が15.0%、「40歳代」が12.7%となっている。

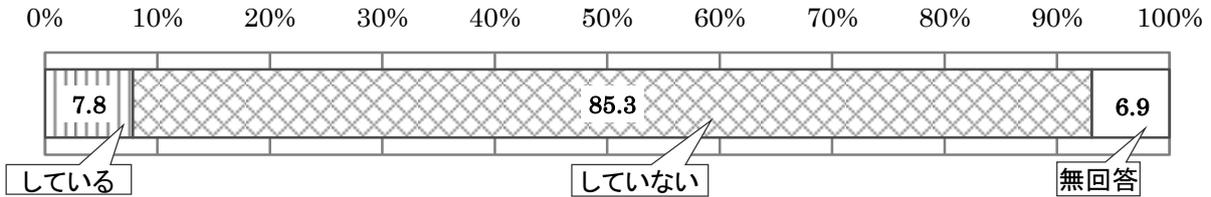
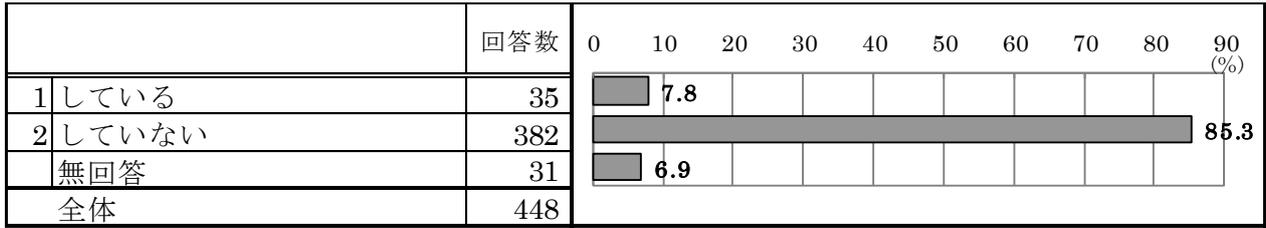
(3) 回答者の居住地

	回答数	0	10	20	30 (%)
1 Iブロック	47	10.5			
2 IIブロック	73	16.3			
3 IIIブロック	73	16.3			
4 IVブロック	75	16.7			
5 Vブロック	103	23.0			
6 VIブロック	54	12.1			
無回答	23	5.1			
全体	448				

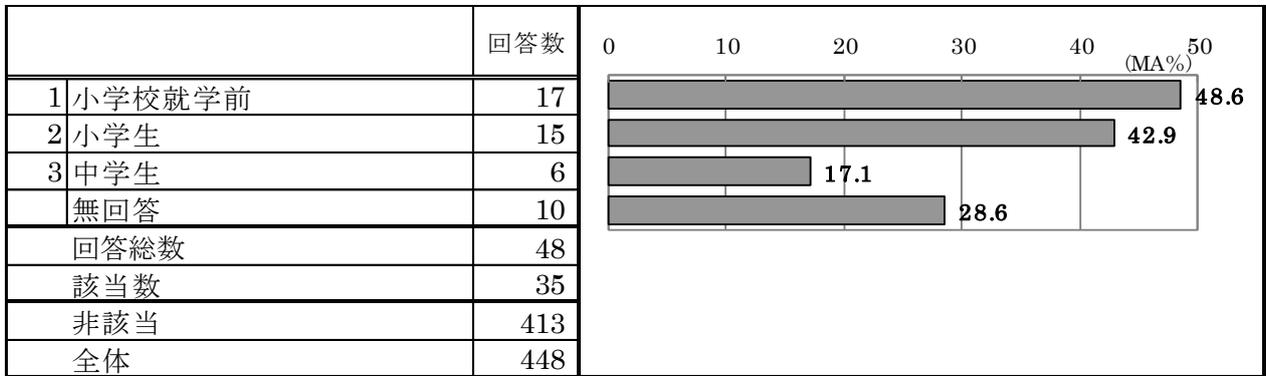


回答者の居住地（ブロック）は、「Vブロック（松、橘、潮路、千本北、千本中、千本南）」が 23.0%と最も多く、次いで「IVブロック（岸里二・三丁目、天神ノ森、岸里東、玉出東、玉出中、玉出西）」が 16.7%、「IIIブロック（花園南、天下茶屋東、天下茶屋、聖天下、岸里一丁目）」と「IIブロック（山王、太子、萩之茶屋、花園北、天下茶屋北）」が 16.3%、「VIブロック（北津守、津守、南津守）」が 12.1%、「Iブロック（北開、中開、南開、出城、長橋、鶴見橋、旭、梅南）」が 10.5%となっている。

(4) 回答者の子育ての状況(中学生以下のお子さまの子育て)

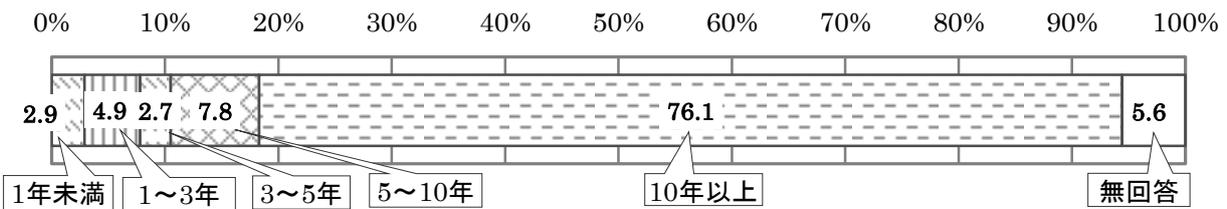
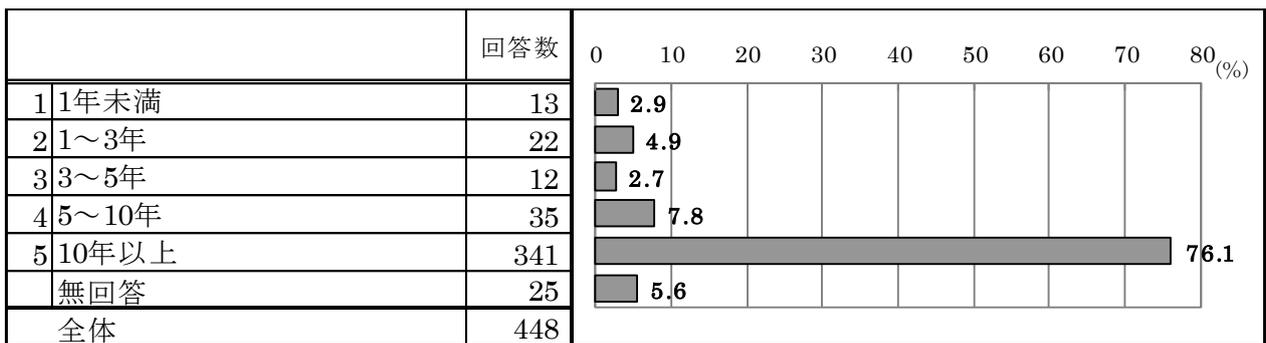


「している」とお答えいただいた方、お子さまの年齢は？



「小学校就学前」が48.6%、「小学生」が42.9%となっている。

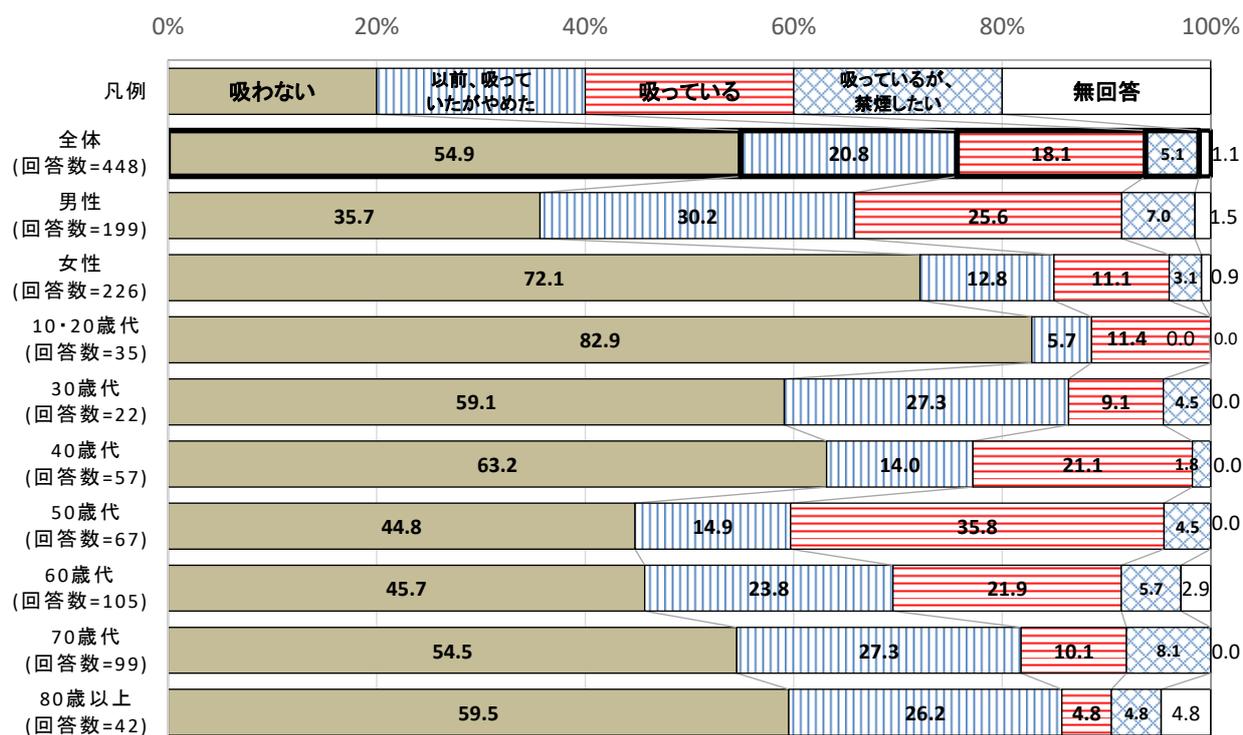
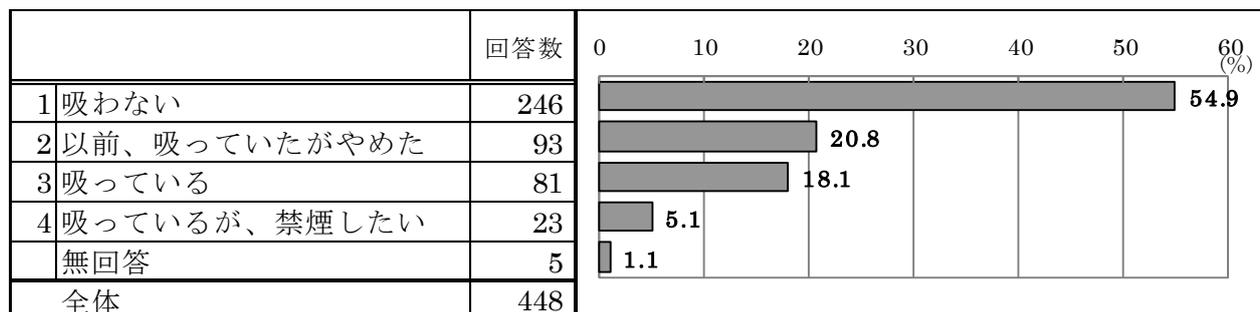
(5) 回答者の居住年数



回答者の通算した西成区での居住年数は、「10年以上」が76.1%と7割を超えている。

2. 「健康づくり」に関して

問1 喫煙の状況 あなたは、タバコを吸いますか？また、吸っていましたか？



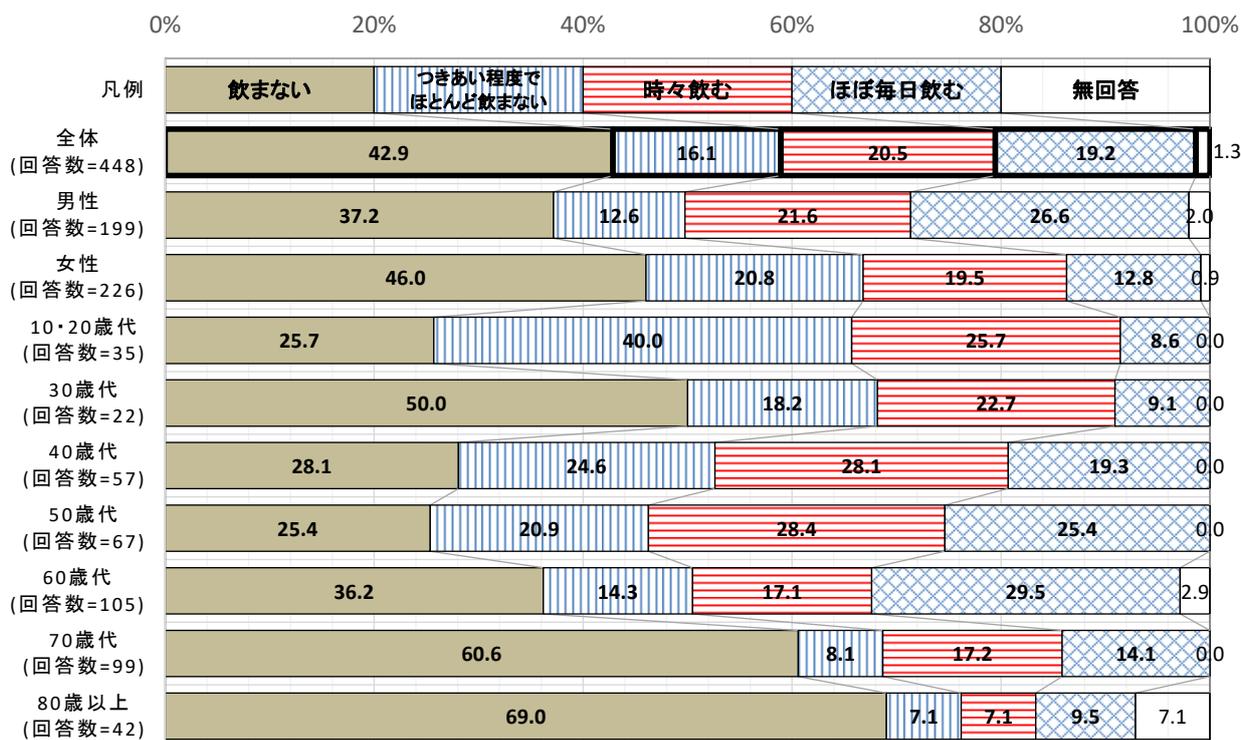
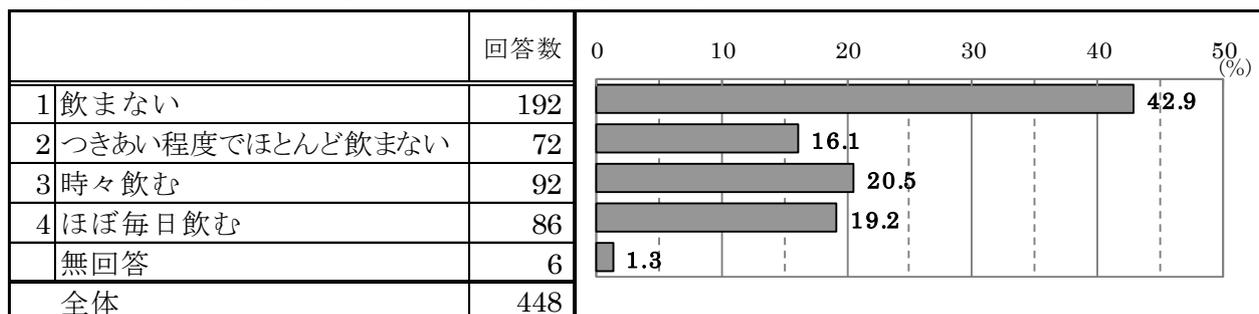
喫煙は、「吸わない」が54.9%と5割を超えており、「以前、吸っていたがやめた」の20.8%と合わせると“タバコを吸っていない”人は75.7%となっている。また、「吸っている」が18.1%、「吸っているが、禁煙したい」が5.1%であり、合わせて“タバコを吸っている”人は23.2%となっている。

男女別にみると、“タバコを吸っていない”のは、『男性』が65.9%、『女性』が84.9%となっている。“タバコを吸っている”のは『男性』が32.6%、『女性』が14.2%となっている。

なお、「以前、吸っていたがやめた」人の1日平均喫煙本数は、20本が42人、10本と40本がともに12人、30本が9人となっている。年数は、30年が14人、40年が13人となっている。

「吸っている」人の1日平均喫煙本数は、20本が31人、15本が15人、10本が14人となっている。年数は、30年が18人、40年が8人、20年が6人となっている。

問2 飲酒の状況 あなたは、お酒を飲みますか？



飲酒は、「飲まない」が42.9%と最も多くなっている。「時々飲む」が20.5%、「ほぼ毎日飲む」が19.2%であり、合わせて“飲酒している”人は39.7%となっている。

男女別にみると、『男性』は「ほぼ毎日飲む」が26.6%、「時々飲む」が21.6%であり、『女性』は「飲まない」が46.0%となっている。

なお、「時々飲む」人の1週間の飲酒日数は、2日が25人、3日が19人、1日が17人となっている。

問2-1 飲酒量（問2で「時々飲む」「ほぼ毎日飲む」と回答の方のみ） 飲む時には、どのくらいの量を飲みますか？

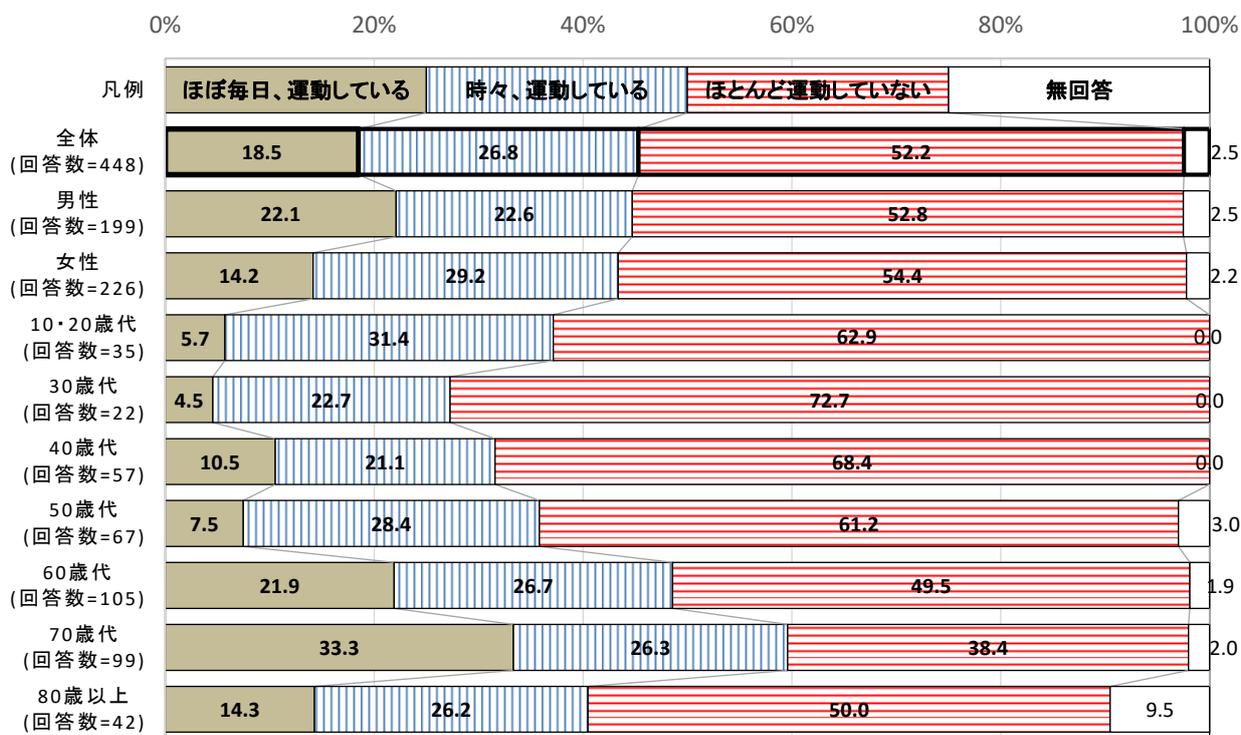
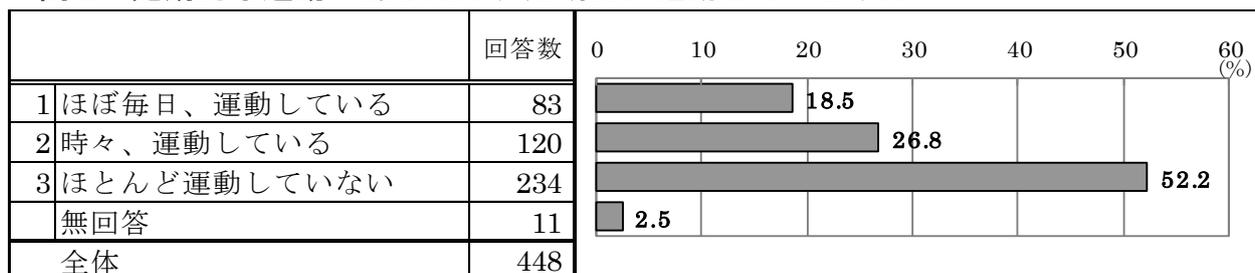
		回答数	0	10	20	30	40	50 (%)
1	1～2ドリンク	89						
2	3～4ドリンク	48				27.0		50.0
3	5～6ドリンク	18		10.1				
4	7～9ドリンク	7		3.9				
5	10ドリンク以上	5		2.8				
	無回答	11			6.2			
回答総数		178						
該当数		178						
非該当		270						
全体		448						

※1ドリンク量の目安

種類 (度数)	ビール・発泡酒 (5%)	チューハイ (7%)	焼酎 (25%)	日本酒 (15%)	ウイスキー・ジン (40%)	ワイン (12%)
量	250ml 中ビン半分・ ロング缶半分	180ml コップ1杯・ 350ml缶半分	50ml	80ml 0.5合	30ml シングル1杯	100ml ワイングラス 1杯弱

飲酒量は、「1～2ドリンク」が50.0%と最も多く、次いで「3～4ドリンク」が27.0%となっている。

問3 定期的な運動 あなたは、定期的に運動していますか？



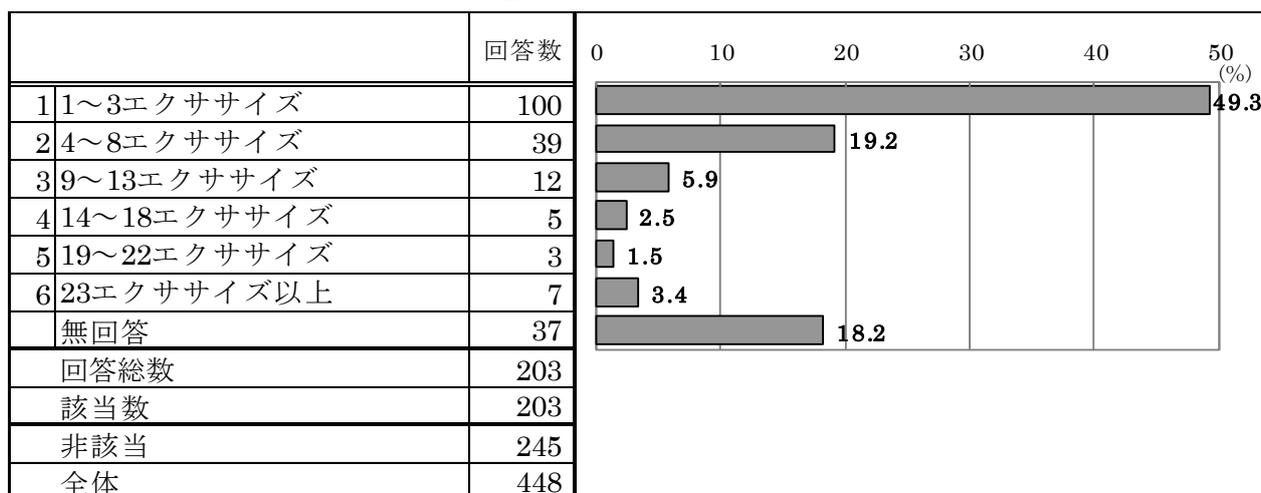
定期的な運動は、「ほとんど運動していない」が 52.2%と半数を超えている。

「ほぼ毎日、運動している」が 18.5%、「時々、運動している」が 26.8%であり、合わせて“運動している”人は 45.3%となっている。

男女別にみると、“運動している”のは『男性』が 44.7%であり、『女性』は 43.4%となっている。

なお、「時々、運動している」人の 1 週間の運動日数は、3 日が 38 人、2 日が 34 人、1 日が 19 人となっている。

問3-1 運動量（問3で「ほぼ毎日、運動している」「時々、運動している」と回答の方のみ） 1週間で、どの程度の運動をしますか？

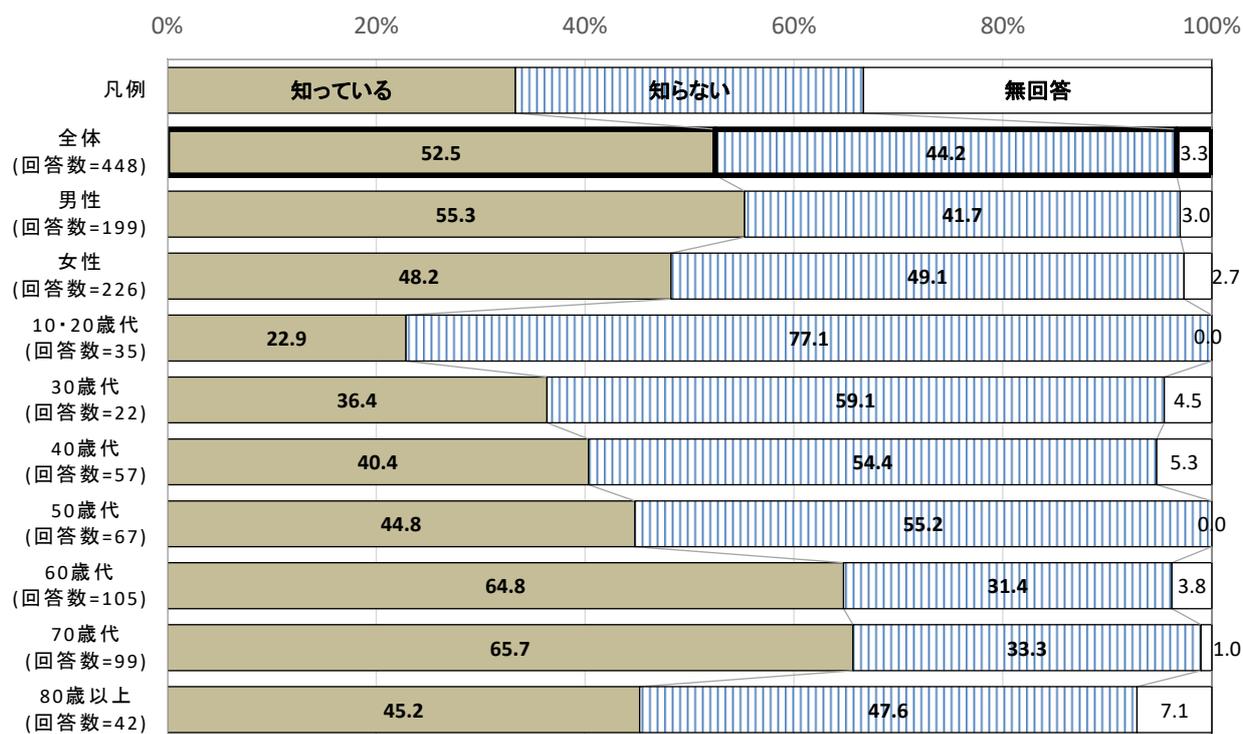
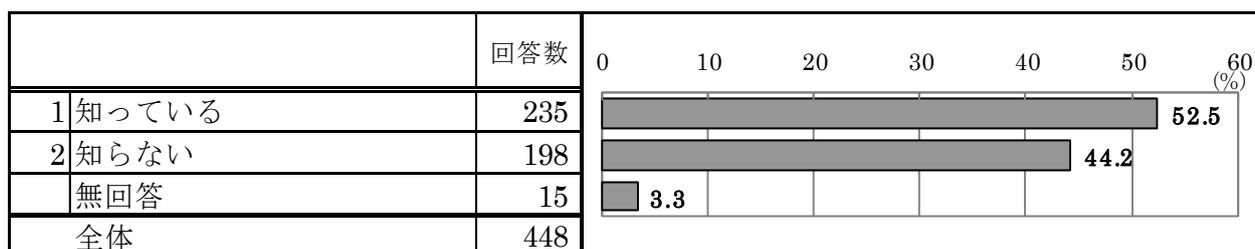


※1エクササイズの目安

種類	普通の歩行・バレーボール・筋力トレーニング(軽・中度)	ラジオ体操・速歩・自転車・ゴルフ・卓球・バドミントン・アクアビクス・太極拳	階段昇降・水泳(ゆっくり)・軽いジョギング・筋力トレーニング(高強度)・エアロビクス・サッカー・バスケットボール・テニス・スキー・スケート	ランニング・水泳・登山・柔道・空手
時間	20分	15分	10分	7～8分

「ほぼ毎日、運動している」「時々、運動している」人の運動量は、「1～3エクササイズ」が49.3%と最も多く、次いで「4～8エクササイズ」が19.2%となっている。

問4 区役所等での無料結核健診の認知度 あなたは、区役所及び分館で、無料で結核健診を受診できることを知っていますか？

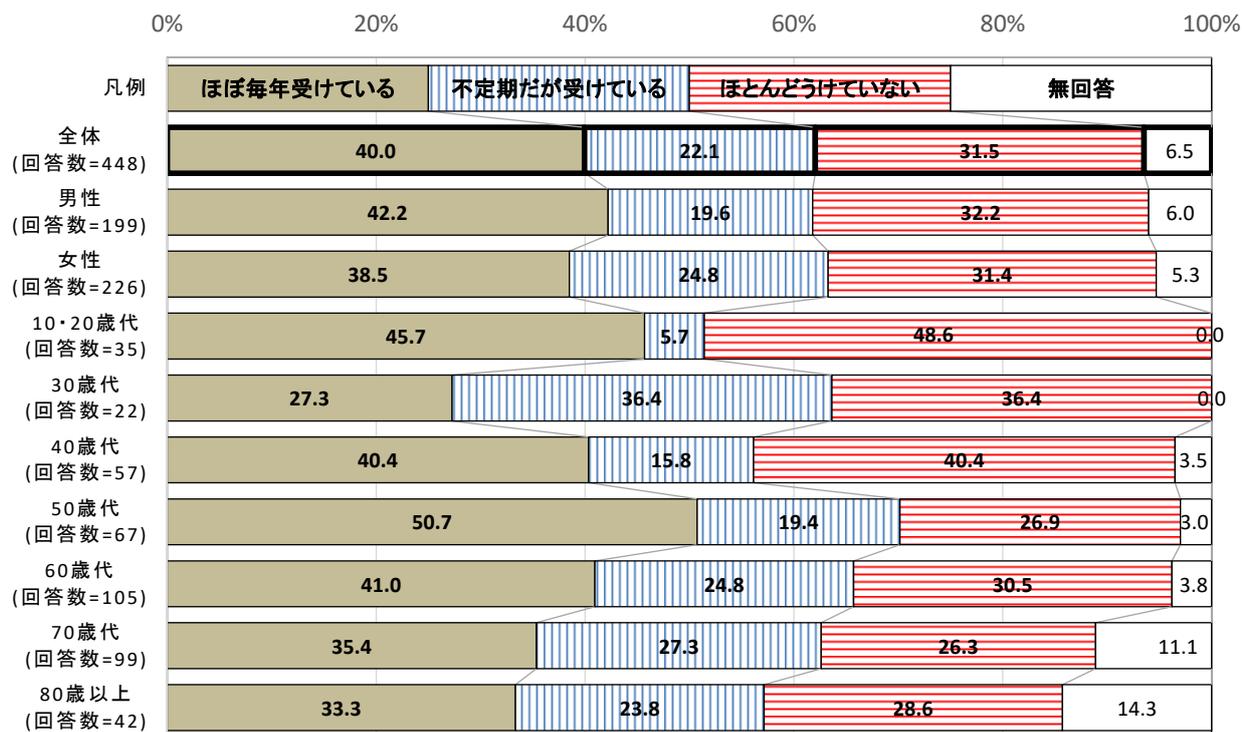


区役所や分館で無料で結核健診を受診できることは、「知っている」が 52.5%と半数を超えており、「知らない」は 44.2%となっている。

男女別にみると、「知っている」は、『男性』が 55.3%、『女性』が 48.2%となっている。

問5 健康診断等の受診状況 あなたは、定期的に健康診断やがん検診などを受けていますか？

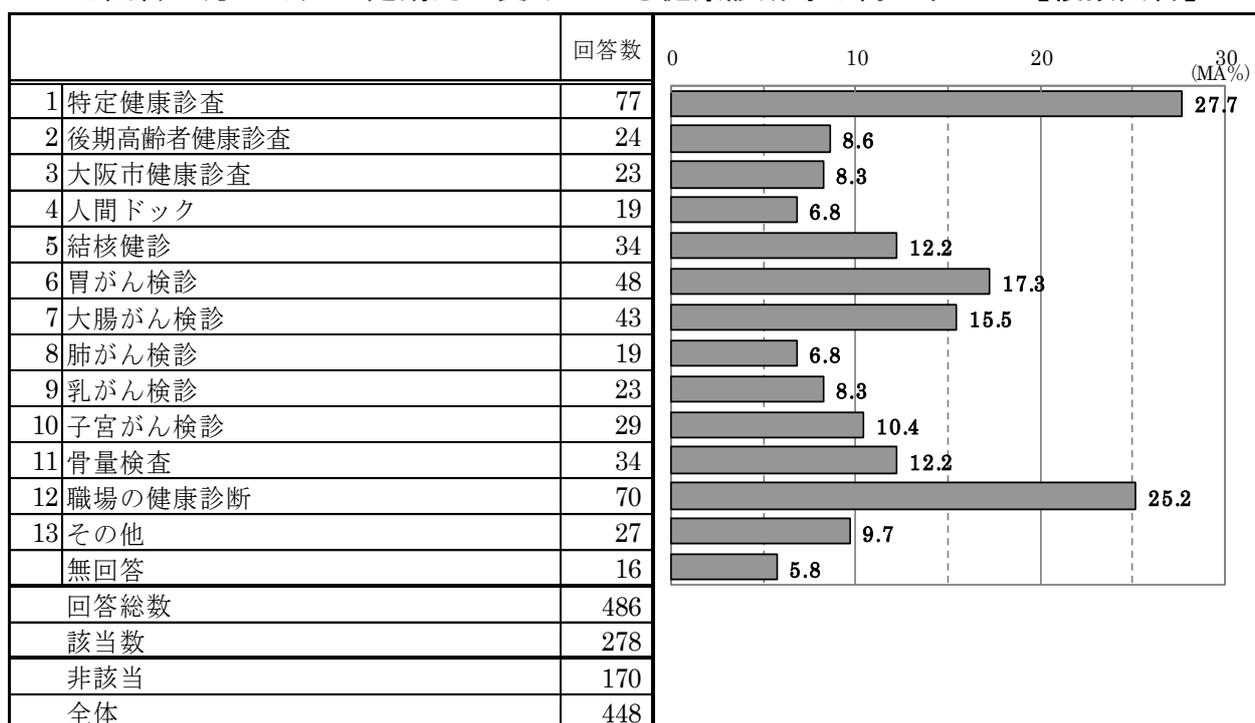
	回答数	0	10	20	30	40 (%)	
1 ほぼ毎年受けている	179	[Bar chart showing 40.0%]					40.0
2 不定期だが受けている	99	[Bar chart showing 22.1%]					22.1
3 ほとんど受けていない	141	[Bar chart showing 31.5%]					31.5
無回答	29	[Bar chart showing 6.5%]					6.5
全体	448						



健康診断は、「ほぼ毎年受けている」が 40.0%と最も多く、次いで「ほとんど受けていない」が 31.5%、「不定期だが受けている」が 22.1%となっている。

男女別にみると、『男性』は「ほぼ毎年受けている」が 42.2%、「ほとんど受けていない」が 32.2%、「不定期だが受けている」が 19.6%となっている。
また、『女性』は、「ほぼ毎年受けている」が 38.5%、「ほとんど受けていない」が 31.4%、「不定期だが受けている」が 24.8%となっている。

問 5-1 健康診断等の内容（問 5 で「ほぼ毎年受けている」「不定期だが受けている」と回答の方のみ） 定期的に受けている健康診断等は何ですか？【複数回答】

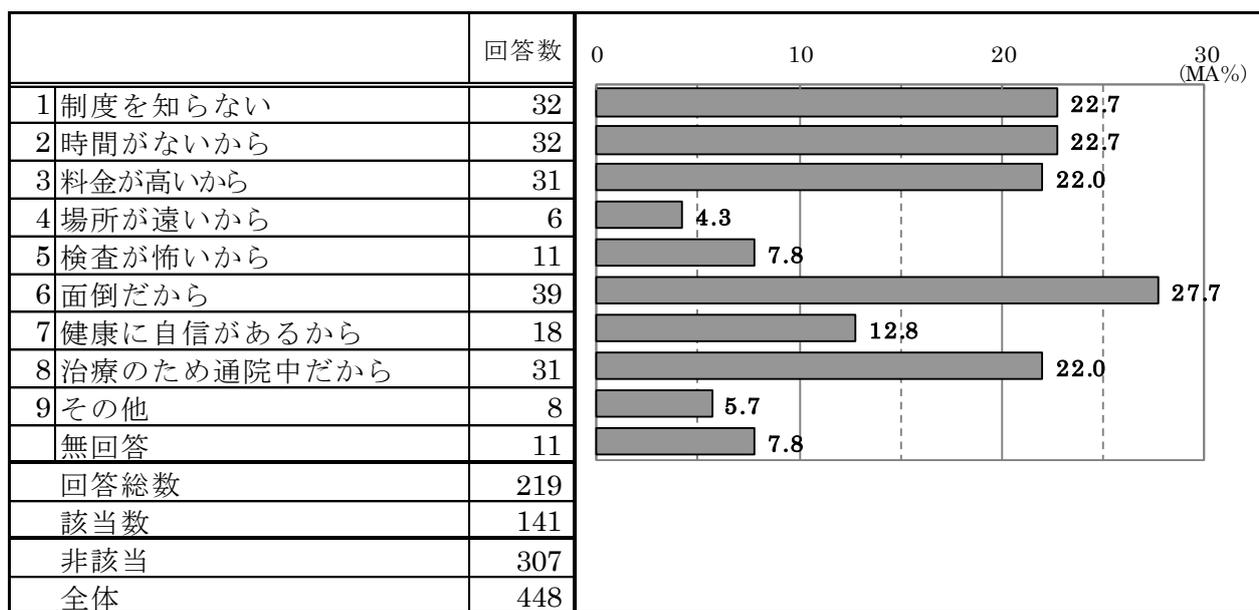


※『ほぼ毎年受けている』人の「その他」の内容：血液検査（4）、病院等での健診（3）

※『時々、受けている』人の「その他」の内容：血液検査（3）、エコー検査、脳のMRI

受けている健康診断等（複数回答）は、「特定健康診査」が 27.7%と最も多く、次いで「職場の健康診断」が 25.2%、「胃がん検診」が 17.3%となっている。

問 5-2 健康診断等を受けていない理由（問 5 で「ほとんど受けていない」と回答の方のみ） 健康診断等を受けていない理由は何ですか？【複数回答】

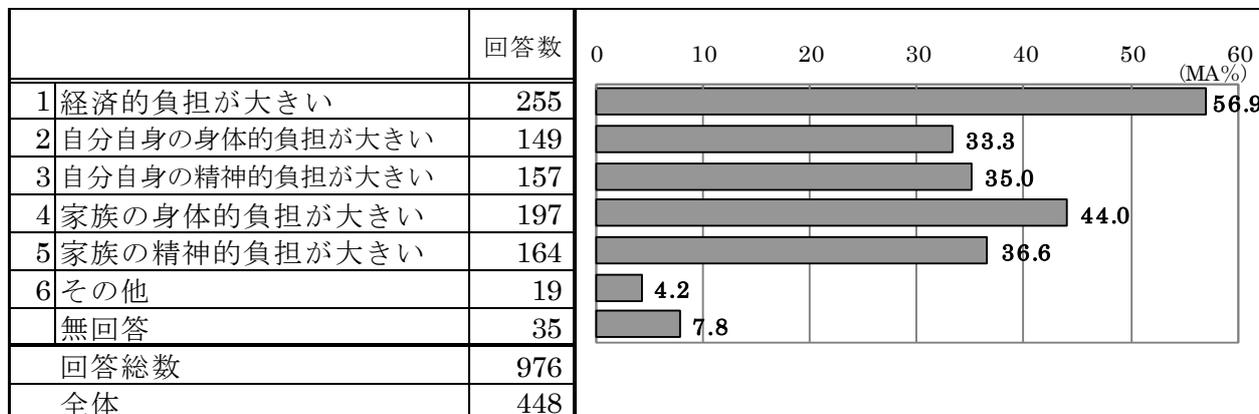


※「その他」の内容：会社が休めない、知りたくない、生活保護

健康診断等を受けていない理由（複数回答）は、「面倒だから」が 27.7%と最も多く、次いで「制度を知らない」と「時間がないから」が 22.7%となっている。

3. 「在宅療養」 に関して

問 6 医療と介護が必要な状態の在宅療養の不安 もしもあなたが医療と介護が必要な状態（入院の必要はないが、通院するのは困難な状況）になった場合、在宅療養にどんな不安があると思いますか？【複数回答】



※「その他」の内容：一人暮らしであること (2)、在宅療養中、妻が介護3級で自由にならない、生活保護

医療と介護が必要になった場合の在宅療養の不安（複数回答）は、「経済的負担が大きい」が 56.9%と最も多く、次いで「家族の身体的負担が大きい」が 44.0%、「家族の精神的負担が大きい」が 36.6%となっている。

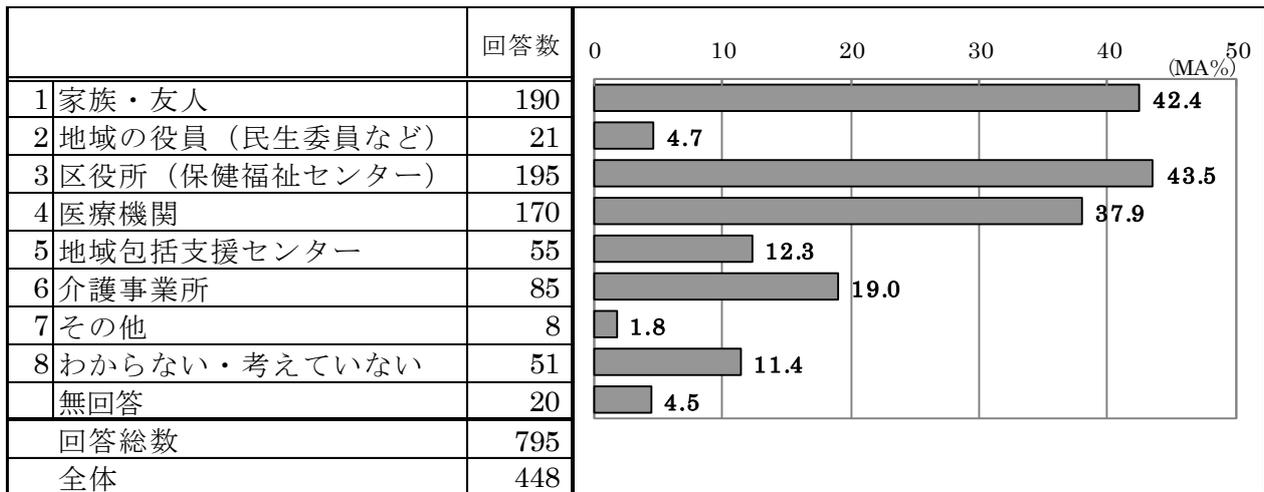
【男女・年代別 在宅療養の不安（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 【回答数=448】	経済的負担が大きい 56.9%	家族の身体的負担が大きい 44.0%	家族の精神的負担が大きい 36.6%	自分自身の精神的負担が大きい 35.0%	自分自身の身体的負担が大きい 33.3%
男性 【回答数=199】	経済的負担が大きい 55.8%	自分自身の精神的負担が大きい 36.2%	家族の身体的負担が大きい 33.7%	家族の精神的負担が大きい 30.7%	自分自身の身体的負担が大きい 30.2%
女性 【回答数=226】	経済的負担が大きい 59.3%	家族の身体的負担が大きい 55.3%	家族の精神的負担が大きい 44.2%	自分自身の身体的負担が大きい 37.2%	自分自身の精神的負担が大きい 36.7%
10～20 歳代 【回答数=35】	経済的負担が大きい 71.4%	家族の身体的負担が大きい 57.1%	家族の精神的負担が大きい 51.4%	自分自身の精神的負担が大きい 40.0%	自分自身の身体的負担が大きい 22.9%
30 歳代 【回答数=22】	経済的負担が大きい 90.9%	家族の身体的負担が大きい／ 家族の精神的負担が大きい 59.1%		自分自身の精神的負担が大きい 40.9%	自分自身の身体的負担が大きい 22.7%
40 歳代 【回答数=57】	経済的負担が大きい 73.7%	家族の身体的負担が大きい 57.9%	家族の精神的負担が大きい 54.4%	自分自身の精神的負担が大きい 38.6%	自分自身の身体的負担が大きい 35.1%
50 歳代 【回答数=67】	経済的負担が大きい 61.2%	家族の身体的負担が大きい 56.7%	家族の精神的負担が大きい 49.3%	自分自身の精神的負担が大きい 43.3%	自分自身の身体的負担が大きい 38.8%
60 歳代 【回答数=105】	経済的負担が大きい 59.0%	家族の身体的負担が大きい 40.0%	自分自身の身体的負担が大きい 36.2%	自分自身の精神的負担が大きい 35.2%	家族の精神的負担が大きい 29.5%
70 歳代 【回答数=99】	経済的負担が大きい 44.4%	家族の身体的負担が大きい 31.3%	自分自身の身体的負担が大きい 30.3%	自分自身の精神的負担が大きい 29.3%	家族の精神的負担が大きい 21.2%
80 歳以上 【回答数=42】	自分自身の身体的負担が大きい 40.5%	家族の身体的負担が大きい／ 自分自身の精神的負担が大きい 35.7%		家族の精神的負担が大きい 33.3%	経済的負担が大きい 28.6%

男女別にみると、男女とも「経済的負担が大きい」が最も多く、次いで『男性』は「自分自身の精神的負担が大きい」「家族の身体的負担が大きい」となっている。

『女性』は第2位が「家族の身体的負担が大きい」であり、第3位は「家族の精神的負担が大きい」となっている。

問 7 医療や介護サービスの相談相手 あなたは、医療や介護サービスについて相談が必要な時はどこに相談しますか？【複数回答】



※「その他」の内容：自分で調べる、かかりつけの医者、宗教団体の関係者

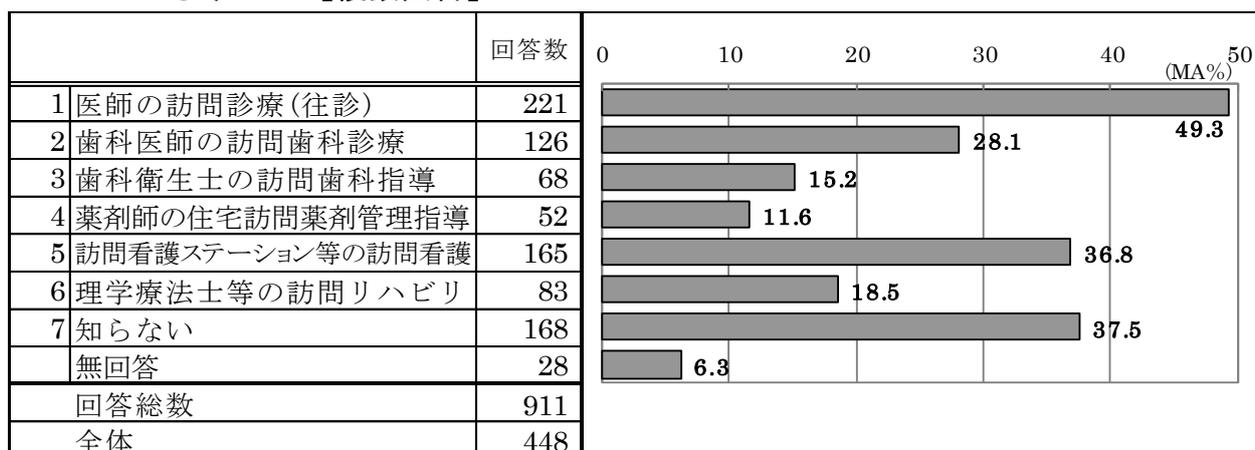
医療や介護サービスについての相談相手（複数回答）は、「区役所（保健福祉センター）」が43.5%と最も多く、次いで「家族・友人」が42.4%、「医療機関」が37.9%となっている。

【男女・年代別 医療や介護サービスの相談相手（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 【回答数=448】	区役所(保健福祉センター) 43.5%	家族・友人 42.4%	医療機関 37.9%	介護事業所 19.0%	地域包括センター 12.3%
男性 【回答数=199】	区役所(保健福祉センター) 45.7%	家族・友人 / 医療機関 35.2%	介護事業所 13.1%	地域包括センター / わからない・考えていない 11.6%	
女性 【回答数=226】	家族・友人 51.3%	区役所(保険福祉センター) 42.5%	医療機関 41.6%	介護事業所 21.7%	地域包括センター 12.4%
10～20 歳代 【回答数=35】	家族・友人 65.7%	医療機関 40.0%	区役所(保健福祉センター) 37.1%	わからない・考えていない 25.7%	介護事業所 17.1%
30 歳代 【回答数=22】	家族・友人 68.2%	医療機関 50.0%	区役所(保険福祉センター) 27.3%	わからない・考えていない 18.2%	地域の役員 / 無回答 4.5%
40 歳代 【回答数=57】	家族・友人 50.9%	区役所(保険福祉センター) 42.1%	医療機関 28.1%	わからない・考えていない 21.1%	介護事業所 14.0%
50 歳代 【回答数=67】	区役所(保険福祉センター) 53.7%	家族・友人 52.2%	医療機関 44.8%	地域包括センター / 介護事業所 16.4%	
60 歳代 【回答数=105】	区役所(保険福祉センター) 54.3%	医療機関 42.9%	家族・友人 35.2%	介護事業所 16.2%	地域包括センター / わからない・考えていない 8.6%
70 歳代 【回答数=99】	区役所(保険福祉センター) 45.5%	医療機関 31.3%	家族・友人 30.3%	介護事業所 20.2%	地域包括センター 12.1%
80 歳以上 【回答数=42】	家族・友人 / 医療機関 40.5%	介護事業所 31.0%	地域包括センター 23.8%	区役所(保険福祉センター) 14.3%	

男女別にみると、『男性』は「区役所（保健福祉センター）」が最も多く、次いで「家族・友人」「医療機関」となっている。『女性』は「家族・友人」が最も多く、次いで「区役所（保健福祉センター）」、「医療機関」となっている。

問 8 在宅医療サービスの認知度 あなたは、在宅医療を支えるサービスについて知っていますか？【複数回答】



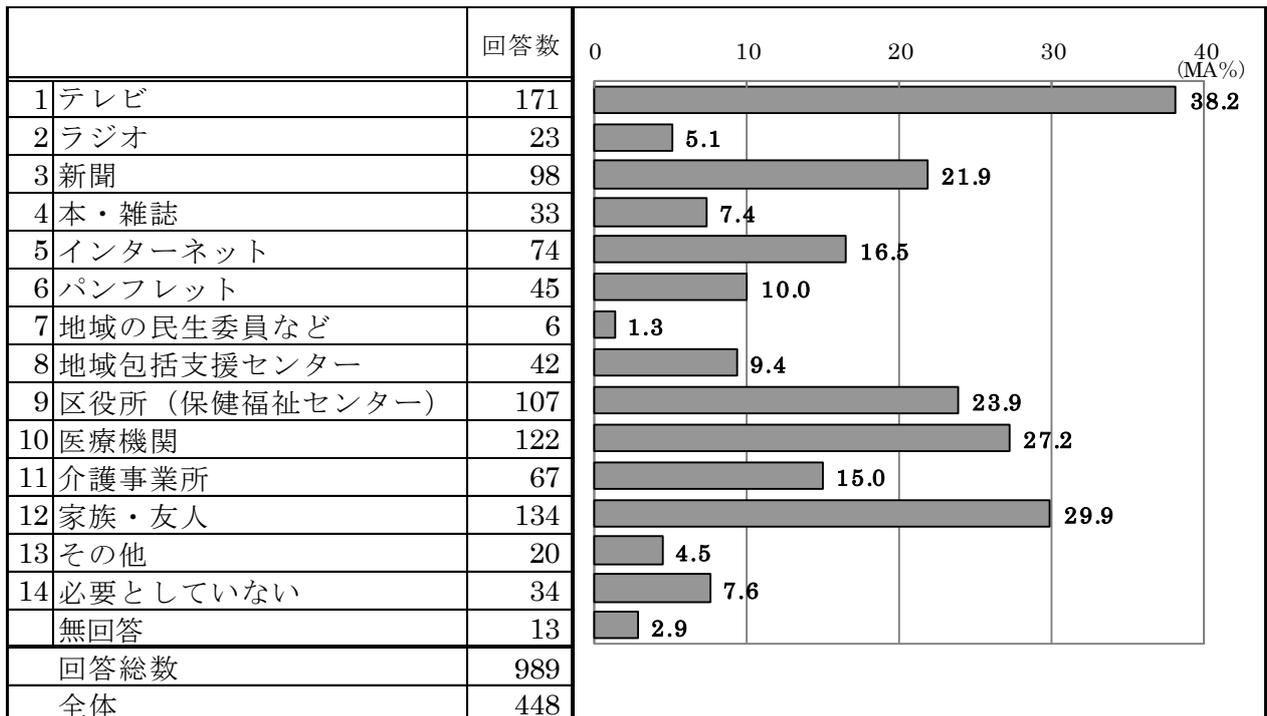
在宅医療を支えるサービスの認知度（複数回答）は、「医師の訪問診療（往診）」が 49.3%と最も多く、次いで「知らない」が 37.5%、「訪問介護ステーション等の訪問介護」が 36.8%となっている。

【男女・年代別 在宅医療サービスの認知度（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 【回答数=448】	医師の訪問診療(往診)49.3%	知らない 37.5%	訪問看護ステーション等の訪問看護 36.8%	歯科医師の訪問歯科診療 28.1%	歯科衛生士の訪問歯科指導 11.6%
男性 【回答数=199】	知らない 48.7%	医師の訪問診療 36.2%	訪問看護ステーション等の訪問看護 29.1%	歯科医師の訪問歯科診療 19.1%	理学療法士等の訪問リハビリ 12.6%
女性 【回答数=226】	医師の訪問診療(往診)61.5%	訪問看護ステーション等の訪問看護 44.2%	歯科医師の訪問歯科診療 36.7%	知らない 27.4%	理学療法士等の訪問リハビリ 23.9%
10～20 歳代 【回答数=35】	知らない 48.6%	医師の訪問介護(往診) 42.9%	訪問看護ステーション等の訪問看護 31.4%	理学療法士等の訪問リハビリ 25.7%	歯科医師の訪問歯科診療 20.0%
30 歳代 【回答数=22】	知らない 50.0%	医師の訪問診療(往診) 45.5%	訪問看護ステーション等の訪問看護 40.9%	歯科医師の訪問歯科診療 27.3%	歯科衛生士の訪問歯科指導 13.6%
40 歳代 【回答数=57】	医師の訪問診療(往診) 50.9%	訪問看護ステーション等の訪問看護 45.6%	知らない 38.6%	歯科衛生士の訪問歯科指導／理学療法士等の訪問リハビリ 19.3%	
50 歳代 【回答数=67】	医師の訪問診療(往診)62.7%	歯科医師の訪問看護ステーション等の訪問看護 43.3%	訪問看護ステーション等の訪問看護 41.9%	理学療法士等の訪問リハビリ 29.9%	知らない 26.9%
60 歳代 【回答数=105】	医師の訪問診療(往診) 45.7%	訪問看護ステーション等の訪問看護／知らない 41.9%	訪問看護ステーション等の訪問看護 28.3%	歯科医師の訪問歯科診療 27.6%	理学療法士等の訪問リハビリ 19.0%
70 歳代 【回答数=99】	医師の訪問診療(往診) 45.5%	知らない 36.4%	訪問看護ステーション等の訪問看護 28.3%	歯科医師の訪問歯科診療 19.2%	歯科衛生士の訪問歯科指導 12.1%
80 歳以上 【回答数=42】	医師の訪問診療(往診) 52.4%	知らない 28.6%	訪問看護ステーション等の訪問看護 26.2%	歯科衛生士の訪問歯科指導／理学療法士等の訪問リハビリ 14.3%	

男女別にみると、『男性』は「知らない」が最も多く、次いで「医師の訪問診療（往診）」「訪問看護ステーション等の訪問看護」となっている。『女性』は「医師の訪問診療（往診）」が最も多く、次いで「訪問看護ステーション等の訪問看護」「歯科医師の訪問歯科診療」となっている。

問9 医療や介護サービスなどの情報の入手先 あなたは、医療や介護サービスについての情報をどこから得ていますか？【複数回答】



※「その他」の内容：今の職場・以前の職場（3）、ケアマネージャー（2）、医療関係者（2）、わからない（3）

医療や介護サービスの情報の入手先（複数回答）は、「テレビ」が 38.2%と最も多く、次いで「家族・友人」が 29.9%、「医療機関」が 27.2%となっている。

【男女・年代別 医療や介護サービスなどの情報入手先（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 【回答数=448】	テレビ 38.2%	家族・友人 29.9%	医療機関 27.2%	区役所(保険福祉センター) 23.9%	新聞 21.9%
男性 【回答数=199】	テレビ 39.7%	区役所(保険福祉センター) 31.2%	医療機関 26.1%	家族・友人 24.1%	新聞 21.1%
女性 【回答数=226】	家族・友人 38.1%	テレビ 37.2%	医療機関 28.3%	新聞 22.6%	インターネット 19.9%
10～20歳代 【回答数=35】	テレビ 57.1%	インターネット 40.0%	家族・友人 28.6%	医療機関／必要としていない 22.9%	
30歳代 【回答数=22】	インターネット 50.0%	テレビ／家族・友人 27.3%		医療機関 22.7	必要としていない 13.6%
40歳代 【回答数=57】	家族・友人 50.9%	テレビ 31.6%	医療機関 29.8%	インターネット 28.1%	区役所(保険福祉センター) 12.3%
50歳代 【回答数=67】	テレビ 41.8%	家族・友人 35.8%	医療機関 29.9%	インターネット 28.4%	新聞／区役所(保険福祉センター) 22.4%
60歳代 【回答数=105】	テレビ 37.1%	区役所(保険福祉センター) 34.3%	家族・友人 30.5%	新聞／医療機関 28.6%	
70歳代 【回答数=99】	テレビ 35.4%	区役所(保険福祉センター) 31.3%	新聞 29.3%	医療機関 21.2%	家族・友人 20.2%
80歳以上 【回答数=42】	テレビ 42.9%	医療機関 35.7%	家族・友人 31.0%	介護事業所 26.2%	地域包括支援センター 23.8%

男女別にみると、男性は「テレビ」が最も多く、次いで『男性』は「区役所（保健福祉センター）」であり、第3位は「医療機関」となっている。

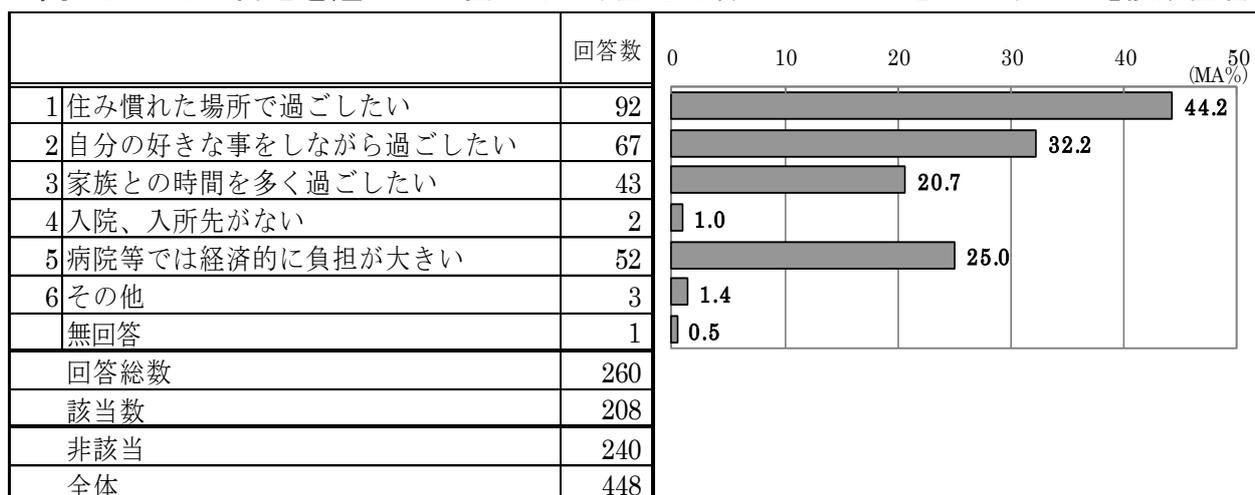
『女性』は「家族・友人」が最も多く、第2位が「テレビ」、第3位が「医療機関」となっている。

問 10A 医療と介護が必要な場合の希望する生活の場 もしもあなたが、がんや慢性の病気などで医療と介護が同時に必要になった場合、どこで暮らしたいと思いますか？【複数回答】

	回答数	0	10	20	30	40	50 (MA%)	
1 自宅(親族や知人の家も含む)	213							47.5
2 病院	162							36.2
3 老人ホームなどの施設	71							15.8
4 その他	7							1.6
無回答	8							1.8
回答総数	461							
全体	448							

医療と介護が同時に必要となった場合の生活の場は、「自宅（親族や知人の家も含む）」が 47.5%と最も多く、次いで「病院」が 36.2%、「老人ホームなどの施設」が 15.8%となっている。

問 10A-1 自宅を選んだ理由 なぜ、自宅で暮らしたいと思いますか？【複数回答】



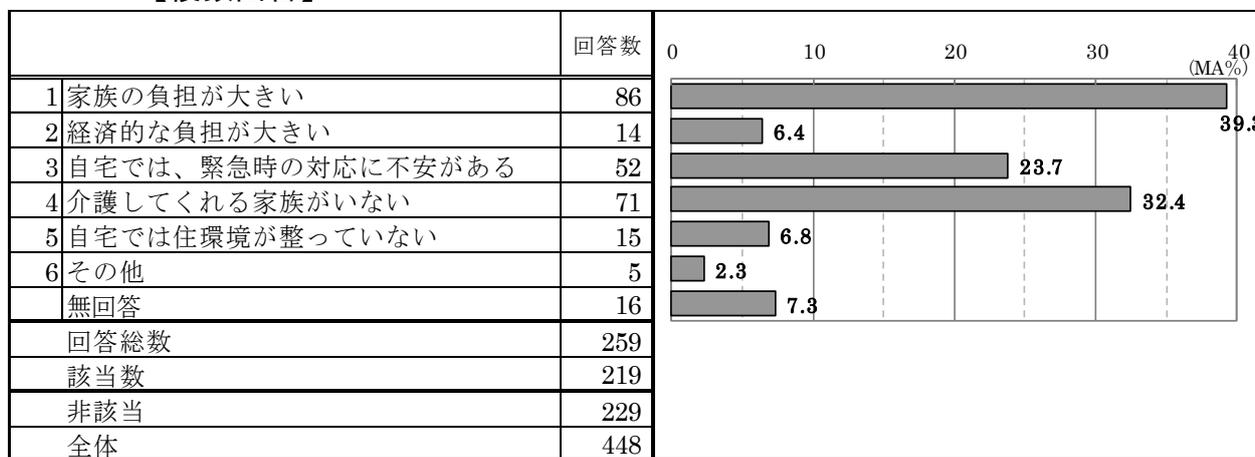
※単数回答：1=77、2=49、3=30、4=5、5=38、6=4

※複数回答：1・2=5、1・2・3=5、1・2・3・5=5、1・2・4=1、1・2・5=4、1・3=1、
1・3・5=2、1・5=3、2・3=1、2・5=4、3・5=2

※「その他」の主な内容：死ぬまで仕事をやめられない、病院食では空腹、子供が親離れしない など

医療と介護が同時に必要となった場合に、自宅を選んだ理由（複数回答）は、「住み慣れた場所で過ごしたい」が44.2%と最も多く、次いで「自分の好きな事をしながら過ごしたい」が32.2%、「病院等では経済的に負担が大きい」が25.0%となっている。

問 10A-2 自宅以外を選んだ理由 なぜ、自宅以外の場所で暮らしたいと思いますか？【複数回答】



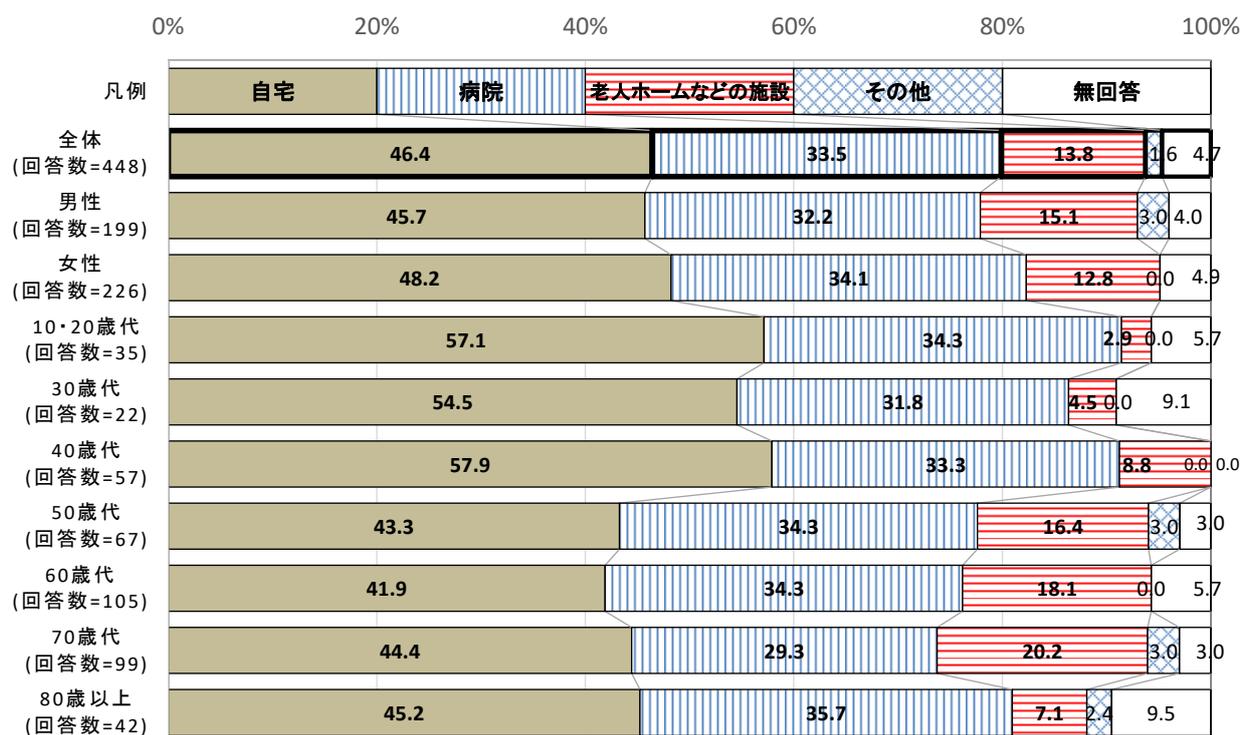
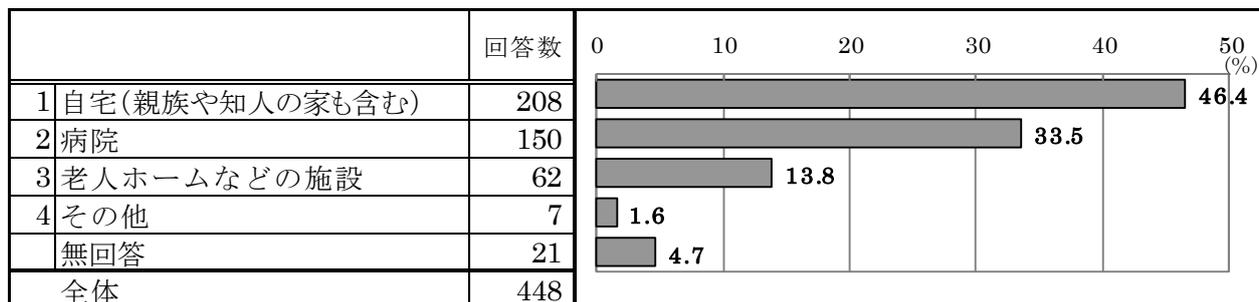
※単数回答：1=69、2=18、3=38、4=71、5=8、6=3

※複数回答：1・2=3、1・2・3=2、1・2・3・4・5=1、1・2・3・5=1、1・2・4=1、1・3=7、
1・3・4=1、1・3・5=2、1・5=5、1・5・6=1、2・3=1、2・4=1、3・4=3、
3・4・5=1、4・6=1

※「その他」の主な内容：治療してもらえるから、家族に迷惑をかけたくない など

医療と介護が同時に必要となった場合に、自宅以外の場所を選んだ理由（複数回答）は、「家族の負担が大きい」が39.3%と最も多く、次いで「介護をしてくれる家族がいない」が32.4%、「自宅では緊急時の対応に不安がある」が23.7%となっている。

問 10B 医療と介護が必要な場合の希望する生活の場 もしもあなたが、がんや慢性の病気などで医療と介護が同時に必要になった場合、どこで暮らしたいと思いますか？【単数回答】

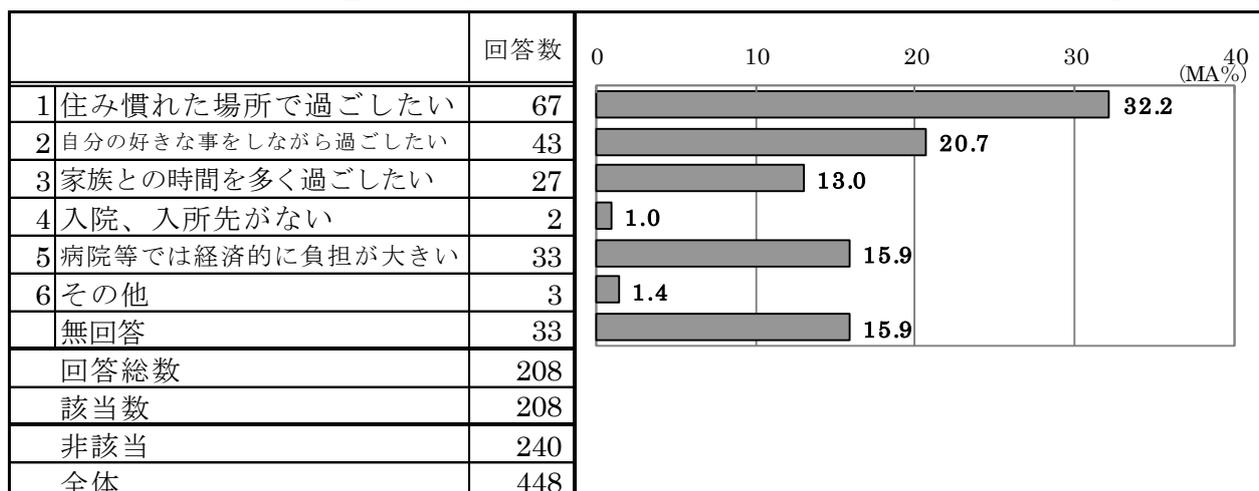


※「その他」の内容：アパート (2)

医療と介護が同時に必要となった場合の生活の場は、「自宅（親族や知人の家も含む）」が46.4%と最も多く、次いで「病院」が33.5%、「老人ホームなどの施設」が13.8%となっている。

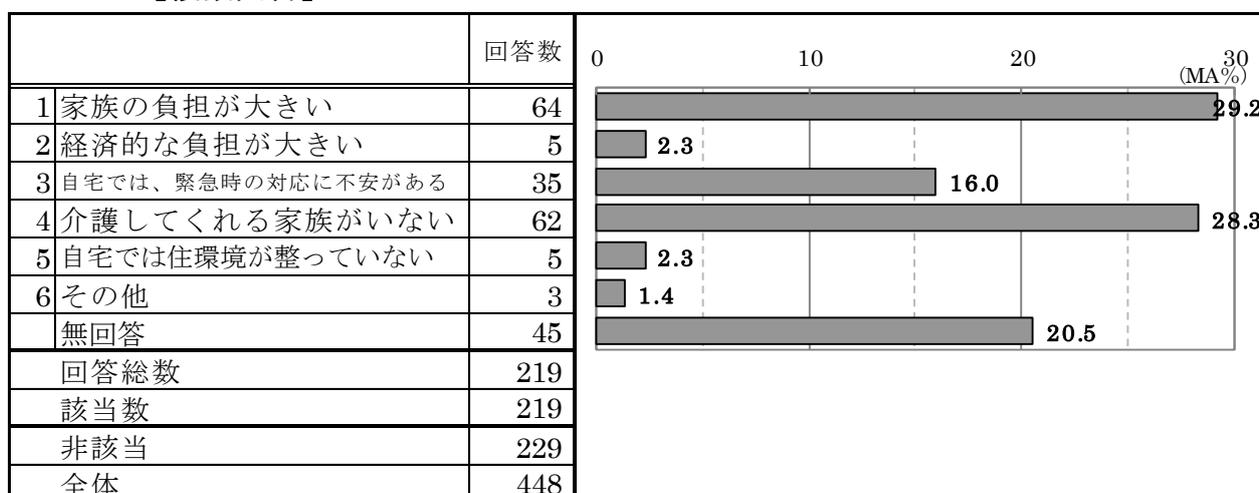
男女別にみると、男女とも「自宅」が最も多く、次いで「病院」「老人ホームなどの施設」「その他」となっている。『男性』『女性』共に占有率に大きな差はない。

問 10B-1 自宅を選んだ理由 なぜ、自宅で暮らしたいと思えますか？【単数回答】



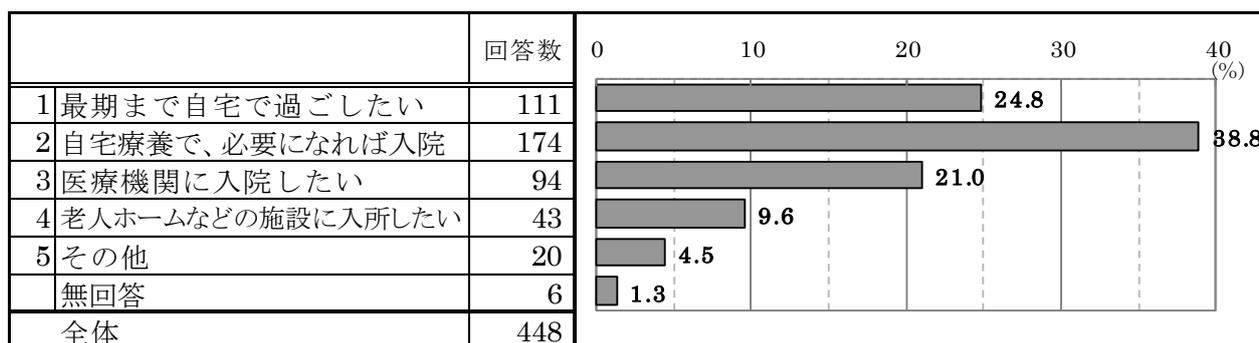
医療と介護が同時に必要となった場合に、自宅を選んだ理由（単数回答）は、「住み慣れた場所で過ごしたい」が 32.2%と最も多く、次いで「自分の好きな事をしながら過ごしたい」が 20.7%、「病院等では経済的に負担が大きい」が 15.9%となっている。

問 10B-2 自宅以外を選んだ理由 なぜ、自宅以外の場所で暮らしたいと思えますか？【複数回答】



医療と介護が同時に必要となった場合に、自宅以外の場所を選んだ理由（単数回答）は、「家族の負担が大きい」が 29.2%と最も多く、次いで「介護してくれる家族がいない」が 28.3%、「自宅では、緊急時の対応に不安がある」が 16.0%となっている。

問 11 人生の最期を過ごしたい場所 あなたが病気などで人生の最期を迎える時が来た場合、どこで過ごしたいと思いますか？



【男女・年代別 人生の最後を過ごしたい場所】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 【回答数=448】	在宅療養で、必要になれば入院 38.8%	最期まで自宅で過ごしたい 24.8%	医療機関に入院したい 21.0%	老人ホームなどの施設に入所したい 9.6%	その他 4.5%
男性 【回答数=199】	在宅療養で、必要になれば入院 29.6%	最期まで自宅で過ごしたい 28.1%	医療機関に入院したい 23.1%	老人ホームなどの施設に入所したい 11.6%	その他 6.0%
女性 【回答数=226】	在宅療養で、必要になれば入院 47.3%	最期まで自宅で過ごしたい 21.2%	医療機関に入院したい 19.9%	老人ホームなどの施設に入所したい 7.1%	その他 3.5%
10～20歳代 【回答数=35】	在宅療養で、必要になれば入院 45.7%	最期まで自宅で過ごしたい 37.1%	医療機関に入院したい／その他 8.6%		
30歳代 【回答数=22】	在宅療養で、必要になれば入院 59.1%	医療機関に入院したい 18.2%	最期まで自宅で過ごしたい 13.6%	老人ホームなどの施設に入所したい 4.5%	
40歳代 【回答数=57】	在宅療養で、必要になれば入院 36.8%	最期まで自宅で過ごしたい 35.1%	医療機関に入院したい 15.8%	その他 7.0%	老人ホームなどの施設に入所したい 3.5%
50歳代 【回答数=67】	在宅療養で、必要になれば入院 35.8%	医療機関に入院したい 23.9%	最期まで自宅で過ごしたい 17.9%	老人ホームなどの施設に入所したい 13.4%	その他 9.0%
60歳代 【回答数=105】	在宅療養で、必要になれば入院 41.0%	医療機関に入院したい 23.8%	最期まで自宅で過ごしたい 21.0%	老人ホームなどの施設に入所したい 10.5%	その他 2.9%
70歳代 【回答数=99】	在宅療養で、必要になれば入院 37.4%	最期まで自宅で過ごしたい 23.2%	医療機関に入院したい 21.2%	老人ホームなどの施設に入所したい 14.1%	その他 3.0%
80歳以上 【回答数=42】	在宅療養で、必要になれば入院／医療機関に入院したい 31.0%	最期まで自宅で過ごしたい 28.6%	老人ホームなどの施設に入所したい 4.8%	その他 2.4%	

男女別にみると、男女とも「在宅療養で、必要になれば入院したい」が最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」「医療機関に入院したい」となっている。